

適用除外実現に全力



来年の海外遠征のチョーオユー（チベット側）。募集要項は3面。



2日間の集会に延べ499名の会員が集まった

交流・連帯と事故防止

ハイキング交流集会

ハイキング交流集会は西宮市にある県立総合体育館で開かれた。集会は玉井県連会長の挨拶で始まり、残暑が厳しい交流集会となつた。

兵庫ではこの一年間で五名の仲間を失つた。兵庫は事故が多いとの指摘をうけ、これまで五回の代表者会議を開き、各会の状況を把握するなど事故防止の対策を取り組んできた。

記念講演は青山先生の「ハイキングにおける事故防止」。内容は、元気すぎる高齢者話を聞かれた。

夜はミニハイクで拝星台へ、神戸の夜景を堪能された。

「遭難対策基金解散時の指針」を2面に掲載

29地方連盟から33名が参加

9月8・9日、東京の全国連盟事務所にて組織で確認された組織拡大の方針の具体化と遭難金を守るたかいの経過について、全国連盟から15名が出席、基金の今後と組織拡大

基金と組織改革で論議 全国組織担当者会議開催

夏のライチヨウ

目撃情報は14件

自衛情報は東京、埼玉、大阪、群馬、石川、京都、千葉の労山会員の方々から合計14件送られました。

事長（保険業法PT責任者）が遭難対策基金が適用除外にならなかつた場合の具体的な対応について判りやすく説明した。

この提案が今回の会議の最も関心の高い議題となり、質問が集中した。

特に新連盟費による救助事業の展開、新連盟費への移行処置、安全対策基金の継続など地方連盟へ持ち帰り議論してもらう重点課題となつた。

これはHPを充実させた「ろうさん拡大ネット」「ろうさん情報ネット」「ろうさん学習ネット」の魅力として、また組織拡大の切り札として新総合戦略も提起された。

これは「新メディア戦略」、新機能を付加した「新会員証」、最新の情報通信を活用した「ろうさん安全支援ネット」の3つのシステムを稼働させることにより会員の倍加計画を図るもので、業者との打合せを重ね一層の具体的な提案を急いでいる。

ROU SAN
ニュース

日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324(代)
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報
フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10時~18時)
E-mail : jwaf@jwaf.jp

登山時報11

日本勤労者山岳連盟
JAPAN WORKERS' ALPINE FEDERATION
2007 No.393

登山時報11号の話題の記事

普段着の山 山岳写真はつまらない？ 鈴木澄雄
日本の幻ノ滝 尾瀬ヶ原／三条の滝 志水哲也
第16回全国ハイキング交流集会in兵庫を開催
雪崩ビーコン比較テスト 北海道雪崩研究会
カラコルム／スパンティーグ登頂報告 近藤和美
辛口コラム 山で見かけるミヨーな人たち 菊地敏之

山の仲間に「登山時報」

「登山時報」をご購読下さい

日本勤労者山岳連盟
300円
各会を通じて申込み下さい。
日本勤労者山岳連盟

共済を守る全国市民大集会

■期日 2007年11月23日（金）祝日 ■会場 東京都内（交渉中）

適用除外の実現を求める労山会員は、地方懇話会、市民団体の方々とともに参加しよう

主催 共済の今日と未来を考える懇話会（事務局 労山全国連盟）



6・15登山者デモ（東京・六本木）

ロープの学習会

事故の中には道具やロープ等が原因で起きる事がある!「クライミングでロープ操作を間違えないために」防ぎえる事故を少しだけなくすために、東京都連盟では8月29日に新規さん(プロガイド・クラミングクラブ)の指導のもと学習会を行った。



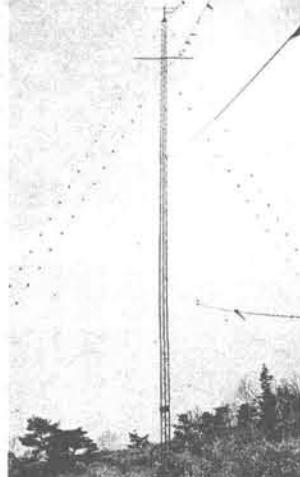
各自持参のロープで実際に確認

事故の中には道具やロープ等が原因で起きる事がある!「クライミングでロープ操作を間違えないために」防ぎえる事故を少しだけなくすために、東京都連盟では8月29日に新規さん(プロガイド・クラミングクラブ)の指導のもと学習会を行った。

正しく結束しているか 都連盟遭難対策部

事故の中には道具やロープ等が原因で起きる事がある!「クライミングでロープ操作を間違えないために」防ぎえる事故を少しだけなくすために、東京都連盟では8月29日に新規さん(プロガイド・クラミングクラブ)の指導のもと学習会を行った。

外来植物の見分け方 都連盟自然保護セミナー



業者の風況調査の鉄塔

県南部の鹿嶺高原・入笠山および県北部の峰ノ原高原・根子岳での大規模風力発電所建設問題は、いずれも根子岳風力発電を考える会が、「根子岳風力発電建設に反対する請願」を須坂市議会議長に提出した。また同建設予定地には建設業者による風況調査のた

ロープの結び方をしているのだろうか、間違ったまま覚えていたのではないだろうか、ロープの特性をよく理解しているだろうか。様々な疑問に答える形で、実際にロープを使用して、最新のロープ情報や色々な結び方による強度の違いを学習した。

大規模な風力発電 長野県の山岳地域で計画

鹿嶺高原の計画に関しては計画が一旦凍結状態になっていたものの、賛成派の動きは根強く、環境影響調査開始の動きがあります。

また10月7日(日)に松本市Mワイングで開催される「松本国際山岳自然環境會議2008」の展示室で同問題の展示物を掲示する。

スパンティークに登頂 全国連盟登山隊



C 1 先の雪稜から遙かに頂上を望む

第22回全国雪崩講習会

- 講習期間 2008年2月8日(金)~11日(月)
- ※2月8日は講師・役員・講師養成クラスを含む講師研修会。
- 2月9日(土)午前9時より講習開始
- 理論講座 通信教育(事前学習) 2007年11月より開始
- 会場 長野県・中央アルプス・千畳敷カール
- 参加費用 46,000円(講師養成クラスはプラス1泊宿泊実費)(2泊3日の宿泊、朝食・夕食各2回、現地交通費、教材費等の費用を含む)
- 郵便振込 口座番号 00160-1-152812 (日本労働者山岳連盟・中央登山学校)
- 募集人数 58名(定員になり次第締め切り。但し、各クラス毎に人数制限があり。)
- 申込問合せ 日本労働者山岳連盟事務局

主催 日本労働者山岳連盟・中央登山学校雪崩講習会

第19回海外登山者集会

- 開催期日 2007年11月17日(土)13時~18日(日)12時
- 会場 日光市交流促進センター
- 記念講演 立松和平氏(18日10時~)
- 登山隊報告 スパンティーク隊など
- 参加費 8000円(1泊2食懇親会費)
日帰り参加 1000円(食事なし)
- 参加締切・申込先 2007年11月10日(土)までに全国連盟に。

主催 日本労働者山岳連盟海外委員会
主管 埼玉県労働者山岳連盟

全国自然保護担当者会議

- 開催期日 2007年11月10日(土)13時~11日(日)12時
- 会場 奈良県大台ヶ原 大台莊・大台山の家
- テーマ 地球温暖化の下での労山自然保護憲章の役割を考える
- 記念講演 片山雅男氏(夙川学園短大助教授)
- 参加費 10000円(宿泊・交流会費含む)
- 参加締切・申込先 2007年10月15日(月)までに全国連盟に。

主催 日本労働者山岳連盟自然保護委員会

全国連盟8000m峰登山隊員募集

- 期間 2008年3月20日~6月5日(予定)
- 連続登山 チョー・オユー(8201m)とシシヤバンマ(8027m)。(チョー・オユーのみの参加も可能)
- 費用 150万円(暫定額・隊員数、為替相場、物価変動、登山規定改定などで変動有り)
- 締切 原則として07年12月末日
- 問合先 日本労働者山岳連盟/海外委員会

日本労働者山岳連盟海外委員会

事故から学ぶの報告

埼玉県秩父市に225名が参加

今集会は1986年の第6回愛知県から約20年ぶりの開催となりました。

そ、今集会が歳月を経て開催することになりました。



笑顔でストレッチ体操を開始(07年6月23~24日)

この間の女性たちのたゆまぬ登山活動があつたればこそ、今集会は20年という歳月を節目として、過去に学び、現状を確認、検証しました。

明日からの登山に展望を拓くための集会といちづけました。参加者は北海道から長崎まで225名、86会・クラブ、25都道府県連。

テーマは、「遭難や事故をなくすための私たちの活動」と掲げ、一日目の全体会では、「私たちの20年の歩みと今後の展望」と「事故から学ぶ」のふたつの基調報告がおこなわれた。

「事故から学ぶ」の報告では、「死」事故の検証「女性

と遭難」「事故からの生還」「遭難の現場で救助にあたる救助隊員からの報告」の報告がありました。

報告の合間に、登山のためのストレッチの実技に汗を流しました。二日目の分科会は①登山のための基本の基礎②仲間③活動④セミナー活動⑤搬出技術⑥安全で楽しい海外登山・トレッキング

委員会活動各分科会とも積極的な発言で討議がふかれました。

(金) 楽しくためになる女性委員会活動各分科会とも積極的な発言で討議がふかれました。

事故やケガを防ぐためのトレーニング④女性の海外登山・トレッキング

